

第31回 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験） 「読取り通訳試験」問題（要約文）

第1問（要約文）

場 面：市立病院職員の勉強会

内 容：ろう者の検診体験談

病院で検査を受けるとき、さまざまな壁を感じています。

最近困ったことと言えば、胃の検査でバリウムを飲んだあと、ベッドに横たわり、身体を回転させるように指示がおりののですが、その都度技師さんが伝えに来て時間がかかりました。

それはそれでありがたいのですが、説明文とイラストが入ったカードを掲示して下さるとお互いにもっとスムーズだったかなと思います。

他にも、MRIで腹部の検査を受けたときに呼吸のタイミングが分からなくて画像がブレて確定診断できないときもありました。ドーム内に画面をとりつけて、手話や写真で指示がわかるようにできればと思いました。

ちょっとした工夫でカバーできる部分も多いのではないかと思います。

第2問（要約文）

場 面：ろう者協会「介護保険講座」

内 容：参加者からきこえる講師への質問

87歳のきこえる母と一緒に暮らしていますが、弱ってきていて今後は心配です。立ち上がり座ったりに時間がかかり、歩くのは小股で時間もかかりますし、外に出る時は杖を使います。そして物忘れもひどくなってきました。

介護認定を受けると要介護1でした。そこで手話のわかるケアマネージャーにお願いして、一度デイサービスを利用させてもらいましたが、気に入らなかったようで、もう行かない、と言っています。

母はケアマネージャーと会うのも気が進まないようです。ケアマネージャーは他のケアマネージャーに変更することもできると言ってくれました。母が一番納得できることが大事とも言っています。

でも、そのケアマネージャーは手話ができて、母がつぶやいていることも教えてくれたりと、私はとても安心できるので、ケアマネージャーはできれば変えたくありません。

このような状況なのですが、母が元気であるためにできることを考えなくてはいけないと思っています。老老介護のこともあって心配なので、何か良いアドバイスがあったら教えてください。

第31回 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）

「聞取り通訳試験」問題

第1問

〔通訳場面の説明〕 県庁の広報課記者会見。案内表示に関する検討会議の報告をする福祉部長の隣に手話通訳者が立ちます。

〔問題文〕

次はみなさんご存知のピクトグラムについてです。ピクトグラムは、「絵文字」とか「絵ことば」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚的な記号の一つです。

例えば、視覚情報に頼る聴覚障害者にとって案内サインのわかりやすさが必要です。いくつかのピクトグラムについて調査した結果、多くの聴覚障害者が解釈を誤ったという報告があります。

例えば、先ほどお配りした資料の図4は、「さわるな」を意味します。聴覚障害者の主な誤答例に、「止まれ」、「禁止」などが見られたということです。

手のひらで相手を制するような絵が、「待て」や「断る」などの手話表現を連想させるため誤解したのだろうと指摘されています。意味の誤解が少なくなるように改良し、誰にでもわかりやすい案内表示が必要です。

県庁内に、高齢者や障害者、子ども、外国人などにわかりやすいピクトグラムによる誘導案内や多言語による表示などを計画しております。

第2問

〔通訳場面の説明〕 聴覚障害者協会の料理教室です。きこえる講師が「骨を強くするおいしいレシピ」を紹介します。参加者は20人ほどです。

〔問題文〕

今日は「骨を強くするおいしいレシピ」ということで、大根の葉とさば缶の温玉うどんをご紹介します。

まず材料です。さば味噌缶詰1缶、大根の葉100グラム、しょうが5グラム、すりごま大さじ1杯、冷凍うどん2玉、温泉卵2個、これは2人分の材料です。

では、作り方です。大根の葉はお好みの大きさに切り、しょうがは千切りにしてください。お鍋に水150ミリリットル、さば缶をほぐして、中の汁ごと入れます。

さらに先ほどの大根の葉、しょうがを入れ、小さじ1のしょうゆを入れてひと煮立ちさせます。そうしたら、水大さじ2で溶いた片栗粉でとろみをつけましょう。

お皿にのせた冷凍うどんを電子レンジでチンをして、さきほどの具をのせます。真ん中に温泉卵をおとしましょう。すりごまをかけて、お好みで七味をかけてもいいでしょう。カルシウムたっぷりの手軽な一品です。